

採択事例①

都道府県： 岐阜県 団体名： 岐阜県
 担当部局： 環境生活部県民文化局文化創造課
 人口： 1,978,742人 経費総額： 71,274千円

デジタル技術を活用した文化振興と魅力発信プロジェクト

事業概要

- ◆ 3Dバーチャル美術展の実施
- ◆ 県有文化施設等におけるデジタルコンテンツの充実
- ◆ 文化芸術公演の動画配信等の開催支援
- ◆ 著作権講座・相談会開催

推進体制

- ①岐阜県県民文化局、県民文化局組織運営会議
- ②岐阜県教育文化財団
- ③岐阜県美術館協議会
- ④岐阜県図書館協議会
- ⑤岐阜県博物館協議会、ほか

課題・目的（効果）

- 【課題】
- ◆ 文化施設の来館者減少に伴い、文化芸術に親しむ機会が損失している
 - ◆ 住民の文化芸術活動に対する意欲や関心が低下傾向にある
 - ◆ 自然災害の常態化に伴い、文化財等の被災・遺失リスクが増加している
 - ◆ 少子高齢化により伝統芸能等の無形文化財の継承において課題が残る

- 【目的（効果）】
- ◆ 官民が連携してデジタル技術を積極的に活用し、積極的なデジタルコンテンツ配信の促進に繋げ、活力ある地域づくりと魅力向上を実現

事業の特徴

- 【「リアル」と「デジタル」の「ハイブリッド型」事業展開】
- ・ 県美術館にて主催する展覧会「ぎふ美術展」、「岐阜県青少年美術展」、「円空大賞展」について「3Dバーチャル美術展」を併催
 - ・ 県美術館等の所蔵する絵画や陶磁器等の美術品等を自宅等いながら鑑賞できる環境を整備

KPI

- ① 県有文化施設の来館者数
- ② 県政モニターアンケート(文化芸術への関心)
- ③ 助成文化団体の公演・展覧会動画の再生回数
- ④ 3Dバーチャル美術展閲覧者数

採択事例②

都道府県： 京都府 団体名： 亀岡市
 担当部局： 亀岡市教育委員会文化資料館
 人口： 86,174人 経費総額： 195,693千円

スーパーシティKAMEOKA・文化資料館等を核としたデジタル集落構想 ～地域の情報発信による魅力向上と地域ネットワークの再構築～

事業概要

- ◆ AR・VR等の最先端技術によるデジタルミュージアム構築
- ◆ オンラインツアーの実施
- ◆ 多様なコンテンツの保存・蓄積によるプラットフォーム化

推進体制

- ①亀岡市・亀岡市文化資料館
- ②亀岡市観光協会
- ③業務委託事業者、ほか

課題・目的（効果）

- 【課題】
- ◆ 観光入込客数及び観光消費額の減少に伴い、オンラインを活用した関係・交流人口の確保が求められている
 - ◆ コンテンツをデジタル化するための専用の機材や設備が不足している

- 【目的（効果）】
- ◆ デジタルコンテンツの作成・プラットフォーム化を行うことで、市の文化や魅力を地域内外に広く発信し、新たな関係人口・交流人口の獲得に取り組むとともに、人々の亀岡市への来訪意欲を増進させる

事業の特徴

- 【新たな関係人口・交流人口の獲得に向けたコンテンツの強化】
- ・ 潜在的な地域資源の魅力を伝えるデジタルコンテンツを制作し、地域の魅力を発信
 - ・ 遠隔地での学習やメタバース空間で学習ができるコンテンツを制作

KPI

- ① 本事業による関係人口・交流人口の増加数
- ② 亀岡市への移住者及び移住を希望者の増加数
- ③ デジタルコンテンツの制作数
- ④ ECサイトの販売額
- ⑤ 地域に誇りを感じる市民の増加

(注) 人口は令和2年国勢調査（2020年10月時点）の数値